

8月6日定例記者会見事項書

令和8年8月6日（木）午後2時～

本庁舎4階 庁議室

1. 市長からの発表

- （1）市民の皆様へ熱中症対策のお願い-----（資料No.1）
- （2）9月の開庁（行政窓口等の受付）時間変更に向けて-----（資料No.2）
- （3）忍者おにぎりコンテストを開催します-----（資料No.3）
- （4）第80回芭蕉祭ロゴマークが決定しました-----（資料No.4）
- （5）かがやけ！くらし商品券の販売が終了しました-----（資料No.5）
- （6）シンポジウム「藤堂高虎と伊賀」を開催します-----（資料No.6）
- （7）9月は認知症月間です 認知症啓発講演会開催します-----（資料No.7）

2. その他

- （1）伊賀市本庁舎アート情報（8月展示）-----（資料No.8）

担当連絡先
管理課 救急管理係 担当者名：福森孝、福森寛、高森 電話番号：0595-24-9120

熱中症対策のお願い

1 発表事項の概要

暑さはこれからが本番であり、今後も厳しい暑さが続くことが見込まれますので、引き続き十分な警戒をお願いいたします。

2 発表内容

(1) 目的

市民の皆様一人ひとりが熱中症を正しく理解し、ご自身や大切なご家族の命を守るため、日頃から熱中症予防を心がけ、この夏を安全・安心に過ごしていただきますようお願いいたします。

(2) 現状（8月3日現在）

救急搬送件数：56 件（昨年同期と比べて 28 件減少）

(3) 予防対策

①体を冷やすこと

⇒エアコンを適切に使用する

※市内21カ所に設置のクーリングシェルターもご活用ください

②こまめな水分補給

1 日あたりコップ 6 杯程度（およそ 1.2 リットル）を目安に摂取してください。

(4) 特記事項

熱中症で救急搬送される人の半数以上は 65 歳以上の高齢者

※十分にご注意ください

担当連絡先
■未来政策部 行政改革課 担当者名：植田、大門 電話番号：0595-41-0930
■総務部 人事課 担当者名：前田、芝原 電話番号：0595-22-9606

9月の開庁（行政窓口等の受付）時間変更に向けて

1 発表事項の概要

伊賀市では、持続可能な行政サービスの提供の実現に向けて、勤務体制の改善、職員の働き方改革を進めることを目的として、令和8年9月1日（火）からの開庁（行政窓口等の受付）時間を変更します。

2 発表内容

（1）目的

令和8年9月1日（火）から開庁（行政窓口等の受付）時間を変更します。変更日まで1カ月を切りましたので、再度皆様にお知らせします。

（2）内容

①変更開始日

令和8年9月1日（火）

②変更後の行政窓口等の受付時間

【窓口受付時間】午前9時から午後4時30 分まで

【電話受付時間】午前9時から午後4時30 分まで※令和8年度中は現行のとおりに変更しません。

（3）掲載ページ

■開庁（行政窓口等受付）時間変更について

<https://www.city.iga.lg.jp/0000013822.html>

※掲載ページ内にはアンケート結果も掲載しています。



窓口サービスに関するアンケート調査結果について

アンケート実施期間		令和8年5月1日（金） ～5月15日（金）		
回答数	内 訳	回答方法	回答数 (件)	割合 (%)
1,198件		LoGoフォーム（A）	663	55.3
		（A）のうちeモニター	462	-
		紙（B）	535	44.7
		合計（A） + （B）	1,198	100

抽出課題（5項目）

- ①窓口案内や表示の改善
- ②手続きの簡略化・効率化
- ③待ち時間の短縮
- ④オンライン申請の更なる拡充
- ⑤延長窓口廃止の影響の最小化

抽出課題を踏まえたサービス改善の方向性

➤全職員による案内対応

来庁者への案内対応について、来庁者がスムーズに手続きなどを行えるようコンシェルジュの役割はもとより、全職員が率先して「気づき」「声かけ」「つなぎ」を行うよう、改めて意識醸成と周知徹底に取り組みます。

➤「書かない窓口」の導入 と 案内表示の改善検討

令和8年度中に「書かない窓口」を導入し、手続きの簡略化・効率化、待ち時間の短縮化を図るとともに、手続きルートなどの案内を分かりやすく示します。あわせて庁舎内の案内表示についても改善を検討します。

➤オンライン申請の更なる拡充と周知

オンライン申請に対応する手続きの範囲を拡大します。一方で、令和8年6月末時点で131種類の手続きをオンラインで行えることから、手続き範囲の拡大とあわせて更なる周知を図ります。また、令和10年度を目途として、オンライン申請機能を備えた「市民アプリ」の導入を進め、更なる利便性の向上を目指します。

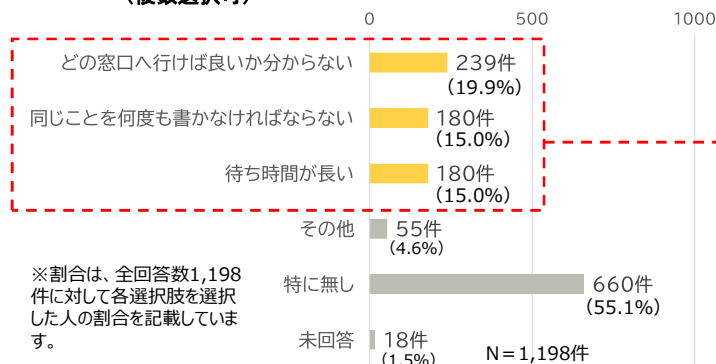
➤コンビニ交付の更なる周知

戸籍住民課、課税課、収税課にて実施している延長窓口では、証明書交付の手続きが多くを占めています。このため、コンビニ交付の更なる周知により、延長窓口廃止の影響を最小化します。

課題分析

●行政窓口において求められる改善点

Q3. 現在の行政窓口について改善して欲しいことは何ですか。
(複数選択可)



注目ポイント

- 回答者の過半数（約55%）が「特に無し」を選択しています。
- 一方で、約2割が「どの窓口へ行けば良いか分からない」、約1.5割が「同じことを何度も書かなければならない」「待ち時間が長い」ことへの改善を求めています。

改善すべき課題

- どの窓口へ行けば良いか分からない
- 同じことを何度も書かなければならない
- 待ち時間が長い

- 窓口案内や表示の改善
- 手続きの簡略化・効率化
- 待ち時間の短縮

● 行政窓口において求められる改善点（窓口別）

クロス集計

Q 3. 現在の行政窓口について改善して欲しいことは何ですか。（複数選択可） × Q 2. あなたが市役所でよく訪れる窓口はどこですか。（複数選択可） ※100件以上の回答数があった窓口を抽出

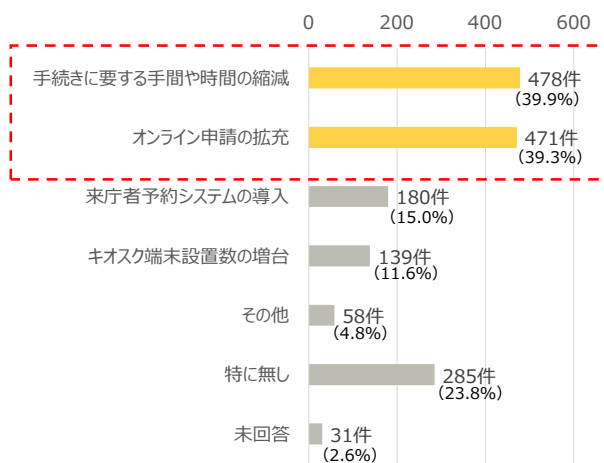
	戸籍・マイナンバー		税金・納税		子育て・保育・児童手当		介護・高齢福祉		保険・年金		障がい福祉	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
待ち時間が長い	121	15.0%	46	15.1%	26	12.7%	28	14.8%	23	12.4%	24	16.2%
同じことを何度も書かなければならない	110	13.6%	46	15.1%	40	19.5%	31	16.4%	30	16.1%	31	20.9%
どの窓口へ行けば良いか分からない	148	18.4%	52	17.1%	38	18.5%	40	21.2%	26	14.0%	29	19.6%
その他	35	4.3%	15	4.9%	15	7.3%	3	1.6%	7	3.8%	5	3.4%
特に無し	383	47.5%	141	46.4%	84	41.0%	85	45.0%	98	52.7%	59	39.9%
未回答	9	1.1%	4	1.3%	2	1.0%	2	1.1%	2	1.1%	0	0.0%
総計	806	100.0%	304	100.0%	205	100.0%	189	100.0%	186	100.0%	148	100.0%

注目ポイント

- 窓口別の集計では、突出していずれが多い結果とはなっていません。

● 開庁時間を変更する上で求められる配慮

Q 4. 開庁（行政窓口等の受付）時間を変更する上で、特に配慮が必要なことは何ですか。（複数選択可）



N = 1,198件

※割合は、全回答数1,198件に対して各選択肢を選択した人の割合を記載しています。

注目ポイント

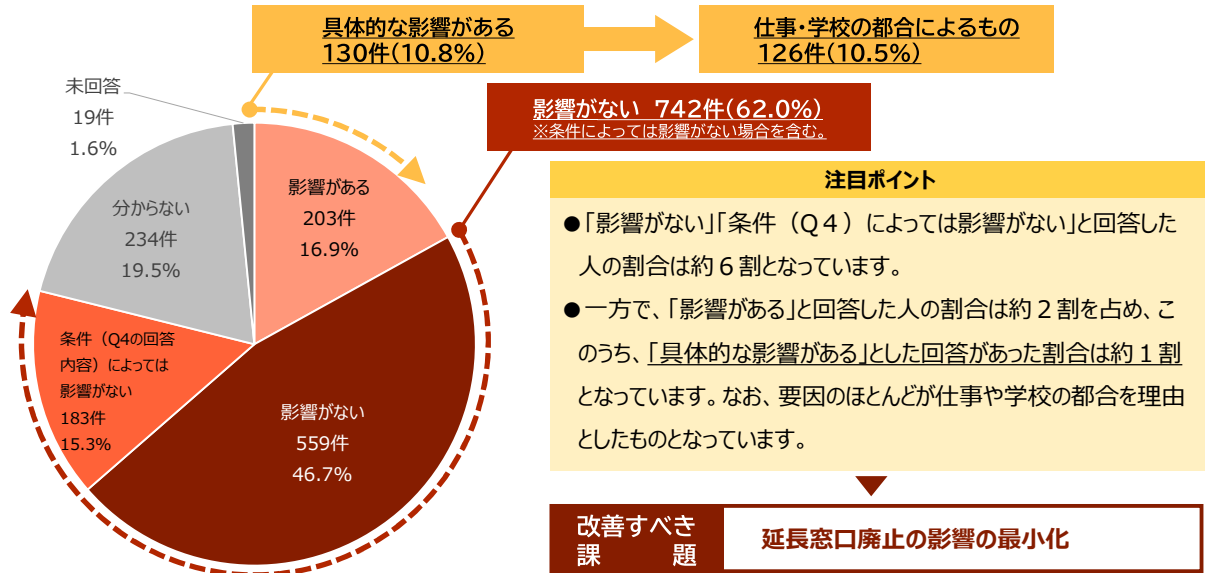
- 最も多かった配慮が必要なこととして、約 4 割が「手続きに要する手間や時間の縮減」を選んでおり、Q 3 の結果も含め改善が必要な項目です。
- また、「オンライン申請の拡充」に関しても約 4 割が改善を求めています。

改善すべき課題

手続きの簡略化・効率化（再掲）
待ち時間の短縮（再掲）
オンライン申請の更なる拡充

● 延長窓口の廃止に伴う課題

Q 5. 延長窓口の廃止による影響はありますか。

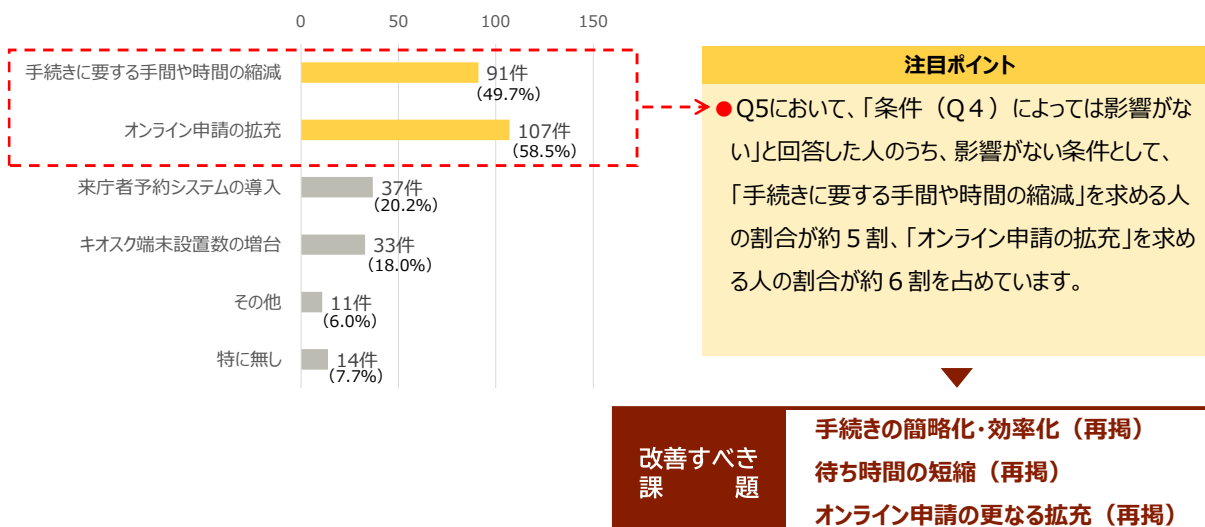


● 延長窓口の廃止に伴う課題（整えるべき要件）

クロス集計

Q 5. 延長窓口の廃止による影響はありますか。
※「条件によっては影響がない」とした回答を抽出

Q 4. 開庁（行政窓口等の受付）時間を変更する上で、特に配慮が必要なことは何ですか。（複数選択可）



(資料No.3)

担当連絡先
伊賀市産業農林部農業振興課 農業振興係 担当者名：吉福、半田 電話番号：0595-22-9713

忍者おにぎりコンテストを開催します

1 発表事項の概要

伊賀市では、令和9年1月に東京都で開催される「おにぎりサミット 2027」において発表する「忍者おにぎり」のアイデアを募集するため、「忍者おにぎりコンテスト」を開催します。

2 発表内容

(1) 目的

伊賀市は、おにぎりを通じて地域の魅力を全国へ発信する「一般社団法人おにぎり協会」に加入し、「おにぎりサミット 2027」に初参加します。

本コンテストは、市民の皆さんから「伊賀らしさ」と「忍者」をテーマにしたオリジナルおにぎりのアイデアを募集し、伊賀産食材のPRや地産地消の推進、伊賀市の魅力発信につなげることを目的として開催します。

(2) 内容

「あなたが考えるオリジナル忍者おにぎり」をテーマに、伊賀のお米と伊賀産食材を使用したオリジナルおにぎりのアイデアを募集します。

優秀作品は、令和9年1月に東京都で開催される「おにぎりサミット 2027」で伊賀市の代表作品として発表予定です。

また、商品化を目指して検討を進めています。

(3) 募集方法

①応募先：伊賀市 産業農林部 農業振興課

②応募期間：令和8年8月8日（土）～9月30日（水）

③応募資格：伊賀市に在住、在学・在勤の方、または伊賀市内で活動する法人・
団体・グループ

④募集内容：・伊賀のお米を使用していること

・伊賀産の食材を1品以上使用していること

（例：伊賀牛、芭蕉ねぎ、鶏卵など）

・おにぎり1個の大きさは、握りこぶし1つ分程度を目安とすること（約100g）※おにぎりの形は問いません

⑤応募方法：応募フォームまたは応募用紙（郵送・持参）により応募

（4）結果の発表方法

募集期間終了後、応募作品を審査し、優秀作品を決定します。

その後、入賞者へ通知します。

あなたならではのオリジナル忍者おにぎりを考えよう!!



忍者おにぎり コンテスト

令和8年

応募
期間

8/8(土)~9/30(水)

伊賀流

おにぎりとは?

おにぎりアイデア募集

おにぎりサミット®で発表



(資料No.4)

担当連絡先
伊賀市地域力創造部文化振興課 文化振興係 担当者名：藤島、水谷 電話番号：0595-41-0400

第80回 芭蕉祭ロゴマークが決定しました

1 発表事項の概要

松尾芭蕉生誕の地である伊賀市では、令和8年度に第80回芭蕉祭を開催します。

この80回の節目の年に、芭蕉祭への親しみの醸成および芭蕉祭の発展・繁栄を目的として、市民や来訪者に親しまれるロゴマークを募集し、このたび決定しました。

2 発表内容

芭蕉祭ロゴマーク
(最優秀賞)



(1) 製作者

中野 慎介さん（千葉県在住）

(2) ロゴマークに込めた思い

芭蕉の「静けさ」や「旅」の精神を、伊賀の自然と文化を象徴する山並みと笠のモチーフで表現しました。円形は人と地域のつながりや祭りの広がりを意味し、シンプルで親しみやすいデザインに仕上げています。世代を超えて愛され、伊賀市の魅力を発信する象徴となることを願っています。

(3) 応募数 154 件 ※うちロゴマークのデザインの条件を満たしたデザインは 66 件

(4) 選考方法 続紙（芭蕉祭ロゴマークデザイン審査要領など）のとおりです。

(5) 使用目的 最優秀作品は、令和 8 年度以降の芭蕉祭を PR するため、式典全般における各種印刷物や市広報、ホームページ等で使用します。

芭蕉祭ロゴマークデザイン審査要領など

1. 選考委員

芭蕉祭ロゴマークの最優秀賞を決定する審査について、審査員は次のとおりとする。

【審査員】6名
伊賀市長
伊賀市副市長
地域力創造部長
文化振興課長
公益財団法人芭蕉翁顕彰会長
伊賀市デザインアドバイザー

審査員の都合が悪い場合は、審査員が指名したものを代理審査員として審査できるものとする。

2. 審査方法・賞内訳

(1) 審査方法

芭蕉翁記念館来館者による投票を実施し、その後、審査員による審査。
審査員は持ち点1点とし、合計点が高い作品を最優秀賞とする。

(2) 賞内訳

最優秀賞（採用作品）1点 副賞【賞金5万円】

3. 審査基準

- ・あらゆる世代に親しまれるデザイン
- ・伊賀らしさ
- ・実用性（紙媒体や市ホームページでの掲載）

〇応募期間 令和8年5月11日（月）～ 6月26日（金）

〇応募件数 154件 ※条件を満たしたロゴマーク 66件

〇芭蕉翁記念館投票期間 令和8年6月27日（土）～ 7月21日（火）

〇芭蕉翁記念館での投票数 121票

担当連絡先
伊賀市産業農林部産業政策課産業振興係 担当者名：内田、藤森、稲垣 電話番号：0595-22-9669

かがやけ！くらし商品券の販売が終了しました

1 発表事項の概要

かがやけ！くらし商品券の販売終了について

2 発表内容

(1) 目的

「かがやけ！くらし商品券」について、実行委員会による販売、市生活支援課による配布が完了しましたので結果についてお知らせします。

(2) 販売・配布の結果

■販売分

総数 52,100 セット（当初 50,000 セット、配布返還分 2,100 セット）のうち、51,942 セット（99.7%）を販売しました。

■配布分

総数 10,900 セット（当初 13,000 セット、返還分 2,100 セット）の全てを低所得者世帯に配布しました。

■合計

総数 63,000 セットのうち、62,842 セット（99.7%）が市内に販売・配布されました。

(3) 換金（使用）状況（8月3日現在）

■換金状況 483,434 枚（76.74%）

■市内循環 4億8千3百43万4千円

(4) 使用期限

令和8年8月31日（変更なし）

担当連絡先
伊賀市教育委員会事務局 文化財課 担当者名：笠井、西口 電話番号： 0595-22-9678

シンポジウム「藤堂高虎と伊賀」を開催します

1 発表内容

(1) 目的

伊賀市を代表する史跡「上野城跡」の適切な保存と、今後の活用に向けた「史跡上野城跡保存活用計画」の策定を進めています。計画策定にあたり、上野城の多面的な価値を市民の皆さまに広く知っていただくために、シンポジウム「藤堂高虎と伊賀」を開催します。

(2) 日時

9月19日(土) 午後1時30分から

(3) 場所

ハイトピア伊賀 5階 多目的大研修室
伊賀市上野丸之内500

(4) 参加(見込)人数

定員 100名

(5) 内容

基調講演「高虎と上野城～戦国最強のプロデューサー伊賀をデザインする～」
滋賀県立大学名誉教授 中井 均氏

基調講演にて、伊賀上野城下町を築いた藤堂高虎の事績や、現在につながるまちづくりについて紹介します。

パネルディスカッション「高虎の城づくり、まちづくり、現代のまちづくり」

コーディネーター：日本城郭協会理事 クリス・グレン氏

パネラー：滋賀県立大学名誉教授 中井 均氏

甲南大学教授

東谷 智氏

前伊賀文化産業協会専務理事 福井 健二氏

パネルディスカッションにて、伊賀市の歴史・文化・伝統を生かした、特徴的なまちづくりの取組を共有します。

(6) 特別展

シンポジウムの開催に合わせ、展覧会を開催します。

特別展「高虎と上野城」

開催期間：9月16日（水）から23日（祝水）まで

開館時間：午前9時から午後5時まで

入館料：展覧会開催期間中は無料

会場：史跡旧崇広堂（伊賀市上野丸之内78-1）

電話：0595-24-6090

(7) 主催者

伊賀市教育委員会

高虎の城づくり、まちづくり

伊賀 藤堂高虎と シンポジウム

2026
9.19(土) 13:30~

ハイトピア伊賀

5階 多目的大研修室(三重県伊賀市上野丸之内500)

入場無料 ※事前申込制
(先着 100名)



参加申込
フォーム

基調講演

高虎と上野城

～戦国最強のプロデューサー伊賀をデザインする～

滋賀県立大学名誉教授 中井 均氏

パネルディスカッション

高虎の城づくり、まちづくり、現代のまちづくり

特別展「高虎と上野城」 入場無料

会期 9月16日(水)～9月23日(水・祝)

会場 史跡旧崇広堂(三重県伊賀市上野丸之内78-1)



パネラー



中井均

滋賀県立大学名誉教授
史跡上野城跡保存活用計画検討委員会委員長
主要著書・論文:『戦国の城と石垣』ほか



東谷智

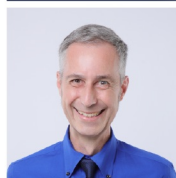
甲南大学教授
史跡上野城跡保存活用計画検討委員会委員
元伊賀市史編集委員
主要著書・論文:『藤堂藩の藩政と伊賀』ほか



福井健二

(公財)伊賀文化産業協会前専務理事
主要著書・論文:『絵図からみた上野城』ほか

コーディネーター



クリス・グレン

(公財)日本城郭協会理事
主要著書:『THE SAMURAI CASTLE
MASTER WARLORD TODO TAKATORA
(邦題:築城の名手・藤堂高虎)』

主催:伊賀市教育委員会
共催:(公財)伊賀市文化都市協会

お問合せ

伊賀市教育委員会文化財課 〒518-8501
TEL:0595-22-9678 FAX:0595-22-9667

三重県伊賀市四十九町3184番地
E-Mail: bunkazai@city.iga.lg.jp

◇この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。



特別展

高虎と

上野城

絵図が語る、
築城と城下町の歴史



唐冠形兜

【展示資料】
唐冠形兜(県指定文化財)
藤堂高虎像
伊賀上野城下絵図(県指定文化財)
藤堂藩伊賀作事方関連文書(県指定文化財)
国中万うりかひ免許状(市指定文化財)
藤堂豊前家伝来甲冑
山岡兵部家伝来甲冑
など



山岡兵部家伝来甲冑

2026

9.16(水)~9.23(水祝)

※期間中 休館日なし

▶ 9:00~17:00(最終日は16:00まで)

▶ 会場: 史跡旧崇広堂
(三重県伊賀市上野丸之内78-1)

▶ 入場無料

主催: 伊賀市教育委員会

共催: (公財)伊賀市文化都市協会

お問合せ: 伊賀市教育委員会文化財課

〒518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地

TEL: 0595-22-9678

FAX: 0595-22-9667

E-Mail: bunkazai@city.iga.lg.jp

◇この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

担当連絡先
伊賀市健康福祉部 地域包括支援センター 総合相談係 担当者名：北寺 川口 電話番号：0595-26-1521

「9月は認知症月間」 認知症啓発講演会開催します

1 発表事項の概要

わが国では毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定め、認知症とともにいきいきと暮らす地域をめざして認知症についての関心と理解を深める啓発を行っており、伊賀市でも毎年9月ごろに啓発活動を行っている。

認知症になっても、住み慣れた地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができるためには、地域全体が学びを深め、認知症を自分事としてとらえてく風土が不可欠である。そのための啓発として、脳科学から見た認知症について講師自身の経験も踏まえ講演いただき、認知症との共生について考えてもらう機会とし、「認知症になってもいきいきと暮らせる伊賀市」の実現のための取り組みの一端としたい。

2 発表内容

(1) 目的 認知症に関する正しい知識と理解を深めるための普及啓発

(2) 日時 令和8年9月6日(日)
午後2時～午後4時(午後1時～受付)

(3) 場所 ヒルホテルサンピア伊賀 4階 白鳳の間

(4) 参加(見込)人数 250人

※要申込 8月7日（金）より申込フォーム・電話にて受付

（5）内容

演題 「脳科学から見た認知症」

講師 脳科学者 おんぞうあやこ 恩蔵絢子さん

※午後1時から午後2時は、受付ホールにおいて関係事業所等による展示を実施

（6）主催者 伊賀市

（7）その他

申込先 地域包括支援センター 中部 電話：0595-26-1521

東部 電話：0595-45-1016

南部 電話：0595-52-2715

「脳科学から見た認知症」

講師..脳科学者 恩蔵絢子さん

ヒアリンググループ
手話通訳 あります

認知症啓発講演会(伊賀市認知症月間普及啓発事業)



恩蔵絢子さんプロフィール

脳科学者

1979年神奈川県生まれ。専門は自意識と感情。2007年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了(学術博士)。東京工業大学大学院で脳科学者の茂木健一郎氏の研究室に入る。現在、金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学で非常勤講師を務める。著書に『脳科学者の母が、認知症になる 記憶を失うと、その人は“その人”でなくなるのか?』(河出文庫)、『なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか 脳科学でわかる、ご本人の思いと接し方』(中央法規出版)がある。

認知症の母と向き合うとともに脳科学者として客観的に分析。
娘だからこそ感じる「その人らしさ」。
「認知症の人の感情は、健康な人と同じようにずっと働いています」
認知症になってもその人らしさは残っていることなどを脳科学の
視点からわかりやすくお話していただきます。

とき：令和8年9月6日(日) 午後1時開場

展示 午後1時～午後2時

講演会 午後2時～午後4時

ところ：ヒルホテルサンピア伊賀

4階 白鳳の間 (伊賀市西明寺2756-104)

定員：250名(先着順/要事前申込)*自由席

駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします

☆ロビー展示☆

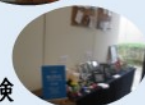
伊賀薬剤師会
薬の相談など

上野病院
脳トレ簡易版体験
デイケア作品展示など

キャラバン・メイトいが
活動紹介など

認知症の人と家族の会
活動内容の展示など

申込フォーム



【申し込み・問い合わせ】伊賀市地域包括支援センター

中部 0595-26-1521 東部サテライト 0595-45-1016 南部サテライト 0595-52-2715

担当連絡先
地域力創造部文化振興課 担当者名：井田 電話番号：0595-41-0400

伊賀市本庁舎アート情報（8月展示）について

《発表内容》

伊賀市本庁舎を利用して、絵画等の展示場所を市民に提供することと、市民の誰もが文化芸術に触れることができる場所を提供するために、本庁舎4階に市民ミニギャラリーを設置し、作品を展示しています。

今月の展示は次のとおりです。

また、多くの皆さんに文化芸術に触れ親しんでいただくため、本庁舎1階にも、美術作品や生花を展示します。

(1) 展示場所 伊賀市本庁舎4階 市民ミニギャラリー
1階 玄関横

(2) 展示期間 8月3日(月)～8月31日(月)
午前8時30分～午後5時15分(市役所の開庁時間に準ずる。)
※準備・撤去の都合により展示のない時間帯が生じる場合があります

(3) 展示内容

○【4階市民ミニギャラリー】
伊賀市上野老人クラブ連合会 写真展

○【1階玄関横】
伊賀市寄贈作品展示
絵画「かぼちゃと女」 苗村武雄

○華道(伊賀華道協会)

8月3日	～	8月7日	甲州流
8月10日	～	8月14日	嵯峨御流
8月17日	～	8月21日	甲州流
8月24日	～	8月28日	甲州流
8月31日	～	9月5日	嵯峨御流

(4) 主催者 伊賀市